

2026年度入学試験（7月）
大学院デザイン工学研究科

建築学専攻 修士課程
キャリア3年コース

入学試験問題・解答用紙

[小論文]

2025年7月5日（土）
9：30～12：30

<解答要領>

1. 解答は、問題用紙の解答記入欄にすること。
2. 問題用紙（解答用紙）のすべてに、受験番号と氏名を記入すること。また、表紙右下に受験番号を記入すること。
3. 参照はすべて不可とする。
4. 問題用紙（解答用紙）はすべて提出すること。
5. 別途配付する計算用紙は提出不要。

受験番号	
氏名	

試験科目	専攻	参照	電卓	受験番号
小論文 (2枚目/3枚中)	建築学専攻	不可	不可	
				氏名

※参照可の場合（ ）

(1枚目の続き)

問2 ここ数年、アジアの多くの都市では、それまでに経験したことのないような自然災害にみまわれている。異常気象や大規模地震は、人口の急激な増加と密集が顕著なアジアの都市部にあつては、より被害が甚大になる。これらの災害でとりわけ問題となったのは水である。人口の規模が桁で異なるアジアでは、ひとたび災害が発生すると、その被害も甚大なのである。2012年の世界銀行の発表では、世界の総水害件数の約4割をアジアが占め、水害のリスクにさらされている人々のうち9割以上がアジアで暮らしているという。いま、アジアでは、人類が地球の自然といかに共生しながら生きていくべきか、それを根底から考えなおさなければならない時期に来ている。いざという時にもコントロールできていたはずの水が、人間の予想や科学技術の域を超えて多くを破壊し人命を奪う。世界の人口の6割が密集するアジアでは、21世紀に課せられたもっとも重要な課題であろう。

そこで、設問の文章は、こうした問題といかなる関係があり、課題解決のためにどのような提案がありうるか、具体的に論じなさい。

